



設置とセットアップ

Install and maintain

NetApp
February 13, 2026

目次

設置とセットアップ	1
はじめに：設置とセットアップを選択してください	1
クイックガイド- FAS2820	1
ビデオ手順- FAS2820	1
詳細な手順- FAS2820	1
手順 1：設置の準備	1
手順 2：ハードウェアを設置する	3
手順 3：コントローラをネットワークに接続する	4
手順 4：コントローラをドライブシェルフにケーブル接続する	8
手順5：ストレージシステムのセットアップと設定を完了する	10

設置とセットアップ

はじめに：設置とセットアップを選択してください

ほとんどの構成では、さまざまなコンテンツ形式から選択できます。

- ["クイックステップ"](#)

ステップバイステップの手順と追加コンテンツへのライブラリンクが記載された PDF 形式のガイドです。

- ["ビデオの手順"](#)

手順を追ったビデオでご確認ください。

- ["詳細な手順"](#)

ステップバイステップの手順と追加コンテンツへのライブラリンクが記載されたオンライン形式のガイドです。

システムが MetroCluster IP 構成の場合は、を参照してください ["MetroCluster IP 構成をインストールします"](#) 手順

クイックガイド- FAS2820

このガイドでは、システムの初期起動時にラックやケーブル接続からシステムを標準的に設置する手順を図で説明します。ネットアップシステムのインストールに精通している場合は、このガイドを使用してください。

設置およびセットアップ手順_PDF ポスター：

["FAS2820システムの設置およびセットアップ手順"](#)

ビデオ手順- FAS2820

次のビデオでは、新しいシステムの設置とケーブル接続の方法を紹介します。

[アニメーション- FAS2820の設置とセットアップの手順](#)

詳細な手順- FAS2820

この手順では、一般的なNetAppストレージシステムをインストールする手順を詳しく説明します。より詳細なインストール手順が必要な場合は、この手順を使用します。

手順 1：設置の準備

作業を開始する前に

お客様のサイトで次のものを準備する必要があります。

- Telcoラックまたはシステムキャビネット内のストレージシステムのラックスペース。
 - ストレージシステム用に2U
 - システムのドライブシェルフごとに2Uまたは4U
- No.2 プラスドライバ
- 追加のネットワークケーブル（ストレージシステムをWebブラウザを使用してネットワークスイッチやラップトップまたはコンソールに接続する場合）
- RJ-45 接続を備え、Web ブラウザにアクセスできるラップトップまたはコンソール
 - にアクセスします ["NetApp Hardware Universe の略"](#) 構成済みのストレージシステム上のサイト要件および追加情報については、を参照してください。
 - へのアクセスも必要になる場合があります ["使用しているONTAP 9のバージョンに対応したリリースノート"](#) このストレージシステムの詳細については、ONTAPのバージョンに対応しています。

手順

1. すべての箱を開梱し、中身を確認します。



特定の電力要件を持つお客様は、確認する必要があります ["NetApp Hardware Universe の略"](#) をクリックしてください。

2. にアクセスします ["System Managerを使用して新しいクラスタにONTAPを設定します"](#)
 - a. AMD手順の要件を確認します。
 - b. 次の手順を実行して、ストレージシステムに関する情報を収集します。 ["セットアップワークシート^ \(ワークシートのURLが必要\)"](#)。
 - c. コントローラのストレージシステムのシリアル番号をメモします。

SSN: XXYYYYYYYYYY



次の表に、同梱されているケーブルの種類を示します。表に記載されていないケーブルがある場合は、を参照してください ["NetApp Hardware Universe の略"](#) ケーブルの場所を確認し、用途を特定します。

ケーブルのタイプ	パーツ番号と長さ	コネクタのタイプ	用途
10GbE、SFP28 ケーブル（発注 内容に応じて）	X6566B-05-R6、.5、 X6566B-2-R6、2m		ネットワークケーブル
25Gbイーサネット、SFP28	X66240A-05、0.5m X66240-2、2m X66240A-5、5m		ネットワークケーブル

ケーブルのタイプ	パーツ番号と長さ	コネクタのタイプ	用途
32Gbファイバチャンネル、SFP+ (ターゲット/イニシエータ)	X66250-2、2m X66250-5、5m X66250-15、15m		FCネットワーク
Cat 6、RJ-45 (注文内容による)	X6561-R6 X6562-R6		管理ネットワークとイーサネットデータ
ストレージ	X66030A、0.5m X66031A、1m X66032A、2m		ストレージ
USB-Cコンソールケーブル	パーツ番号ラベルなし		Windows または Mac 以外のラップトップ / コンソールでソフトウェアをセットアップする際のコンソール接続
電源ケーブル	パーツ番号ラベルなし		ストレージシステムの電源
オプションのFCケーブル	オプションのFCケーブル		追加のFCネットワークケーブル

手順 2：ハードウェアを設置する

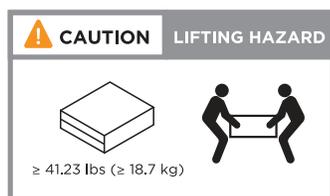
必要に応じて、TelcoラックまたはNetAppストレージシステムキャビネットにストレージシステムを設置します。

手順

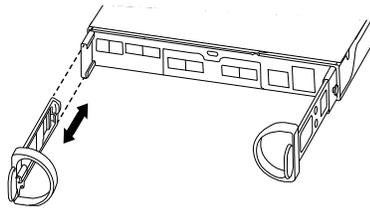
1. 必要に応じてレールキットを取り付けます。
2. レールキットに付属の手順書に従って、ストレージシステムを設置して固定します。



ストレージシステムの重量に関連する安全上の懸念事項に注意する必要があります。



3. ケーブルマネジメントデバイスを取り付けます (図を参照)。



4. ベゼルをストレージシステムの前面に配置します。

手順 3：コントローラをネットワークに接続する

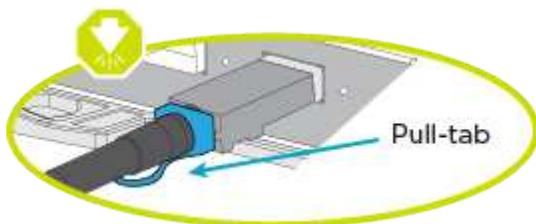
2ノードスイッチレスクラスタまたはスイッチクラスタとしてコントローラをネットワークにケーブル接続します。

次の表に、2ノードスイッチレスクラスタとスイッチクラスタの両方の図のケーブルタイプ、コールアウト番号、およびケーブルの色を示します。

ケーブル配線	接続タイプ
1	クラスタインターコネクト
2	管理ネットワークスイッチ
3	ホストネットワークスイッチ

作業を開始する前に

- ストレージシステムをスイッチに接続する方法については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 図の矢印を確認して、ケーブルコネクタのプルタブの向きが正しいことを確認します。
 - コネクタを挿入すると、カチッという音がして所定の位置に収まります。カチッという音がしない場合は、コネクタを取り外し、ケーブルヘッドを裏返してやり直してください。
 - 光スイッチに接続する場合は、ポートにケーブル接続する前に、SFP をコントローラポートに挿入します。



該当するアニメーションまたは表内の詳細な手順を使用して、コントローラをネットワークにケーブル接続できます。

[アニメーション-2ノードスイッチレスクラスタのケーブル接続](#)

[アニメーションスイッチを使用したクラスタのケーブル接続](#)

オプション 1：2 ノードスイッチレスクラスタをケーブル接続

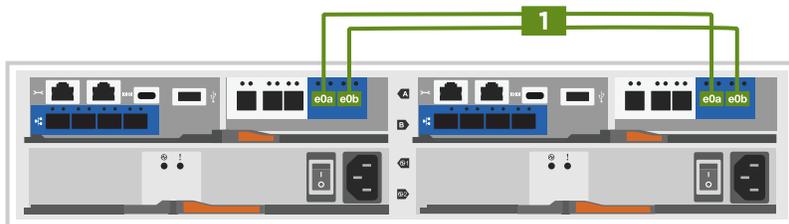
2ノードスイッチレスクラスタの場合は、ネットワーク接続とクラスタインターコネクポートをケーブル接続します。

手順

1. クラスタインターコネクケーブルを使用して、クラスタインターコネクポートe0aからe0a、e0bからe0bを接続します。



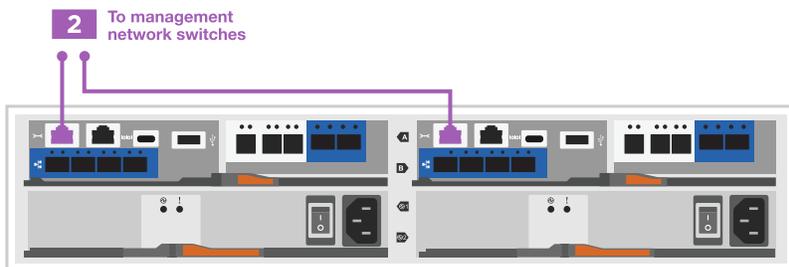
クラスタインターコネクケーブル



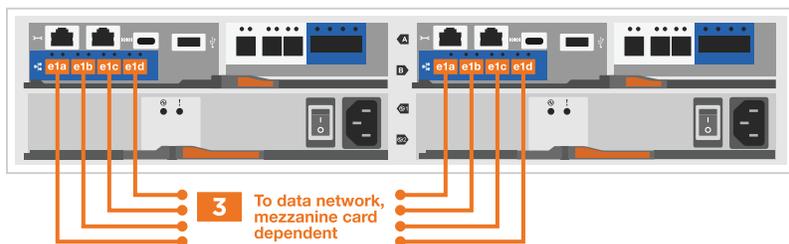
2. RJ45 ケーブルを使用して、e0M ポートを管理ネットワークスイッチに接続します。



- RJ45ケーブル*



3. メザニンカードポートをホストネットワークにケーブル接続します。



- a. 4ポートイーサネットデータネットワークの場合は、ポートe1a~e1dをイーサネットデータネットワークにケーブル接続します。

- 4ポート、10 / 25Gbイーサネット、SFP28





- 4ポート、10GBASE-T、RJ45



b. 4ポートのFibre Channelデータネットワークを使用する場合は、FCネットワーク用にポート1a~1dをケーブル接続します。

- 4ポート、32Gbファイバチャネル、SFP+（ターゲットのみ）



- 4ポート、32Gbファイバチャネル、SFP+（イニシエータ/ターゲット）



c. 2+2カード（2ポートがイーサネット接続、2ポートがファイバチャネル接続）を使用している場合は、ポートe1aとe1bをFCデータネットワークに、ポートe1cとe1dをイーサネットデータネットワークにケーブル接続します。

- 10 / 25Gbイーサネット（SFP28）×2ポート+32Gb FC（SFP+）×2ポート



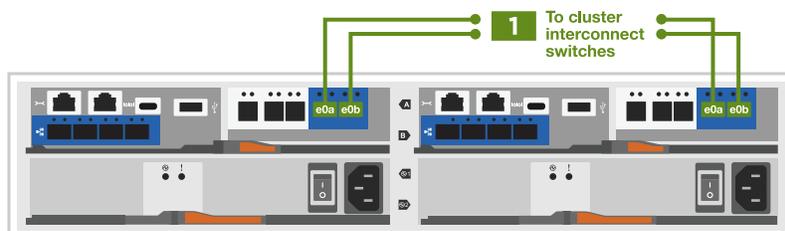
電源コードは接続しないでください。

オプション 2：スイッチクラスタをケーブル接続する

スイッチクラスタのネットワーク接続とクラスタインターコネクトポートをケーブル接続します。

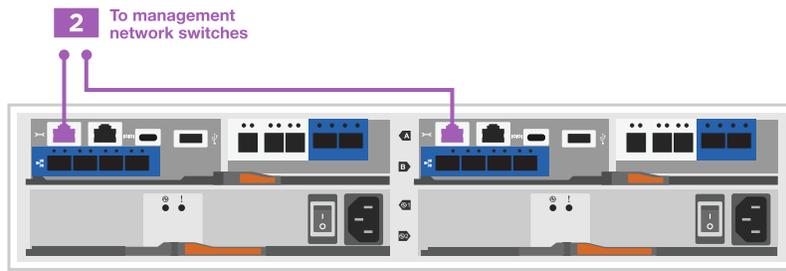
手順

1. クラスタインターコネクトケーブルを使用して、クラスタインターコネクトポートe0aからe0a、e0bからe0bを接続します。

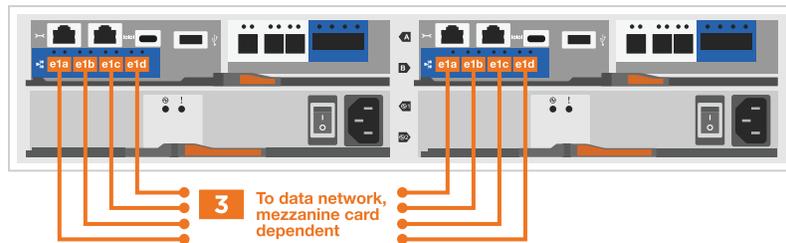


2. RJ45 ケーブルを使用して、e0M ポートを管理ネットワークスイッチに接続します。





3. メザニンカードポートをホストネットワークにケーブル接続します。



a. 4ポートイーサネットデータネットワークの場合は、ポートe1a~e1dをイーサネットデータネットワークにケーブル接続します。

- 4ポート、10 / 25Gbイーサネット、SFP28



- 4ポート、10GBASE-T、RJ45



b. 4ポートのFibre Channelデータネットワークを使用する場合は、FCネットワーク用にポート1a~1dをケーブル接続します。

- 4ポート、32Gbファイバチャネル、SFP+（ターゲットのみ）



- 4ポート、32Gbファイバチャネル、SFP+（イニシエータ/ターゲット）



c. 2+2カード（2ポートがイーサネット接続、2ポートがファイバチャネル接続）を使用している場合は、ポートe1aとe1bをFCデータネットワークに、ポートe1cとe1dをイーサネットデータネットワークにケーブル接続します。

- 10 / 25Gbイーサネット（SFP28）×2ポート+32Gb FC（SFP+）×2ポート





電源コードは接続しないでください。

手順 4 : コントローラをドライブシェルフにケーブル接続する

コントローラを外付けストレージにケーブル接続します。

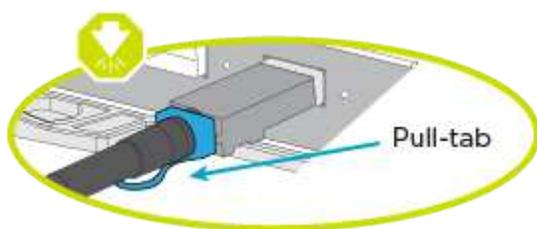
次の表に、ドライブシェルフをストレージシステムにケーブル接続する際の図のケーブルタイプ、コールドアウト番号、およびケーブルの色を示します。



この例では DS224C を使用していますサポートされている他のドライブシェルフでもケーブル接続はほぼ同じです。詳細については、を参照してください ["IOM12 / IOM12Bモジュールを搭載したシェルフを新しいシステムに設置してケーブル接続します"](#)。

ケーブル配線	接続タイプ
1	シェルフ/シェルフカンケエフルセットソク
2	コントローラAヲドライブシェルフニ
3	コントローラBをドライブシェルフに接続

図の矢印を見て、ケーブルコネクタのプルタブの正しい向きを確認してください。



このタスクについて

アニメーションやステップバイステップの手順に従って、コントローラとドライブシェルフをケーブル接続します。



FAS2820ではポート0b2を使用しないでください。このSASポートはONTAPでは使用されず、常に無効になっています。詳細については、を参照してください ["新しいストレージシステムにシェルフを設置します"](#)。

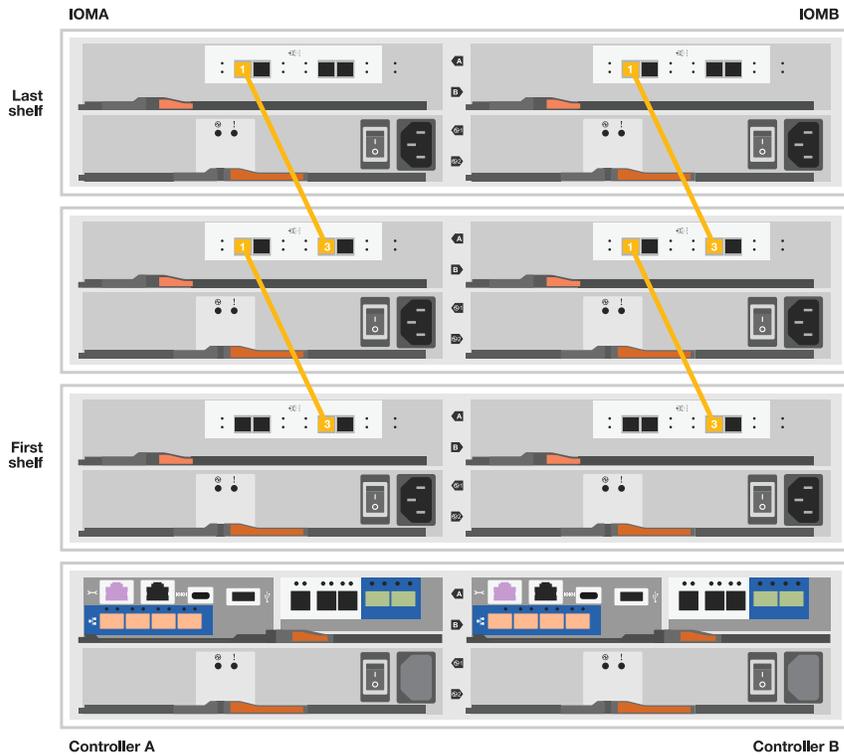
アニメーション-ドライブシェルフのケーブル配線

手順

1. シェルフ間でポートをケーブル接続します。

a. IOMAのポート1と直下のシェルフにあるIOMAのポート3

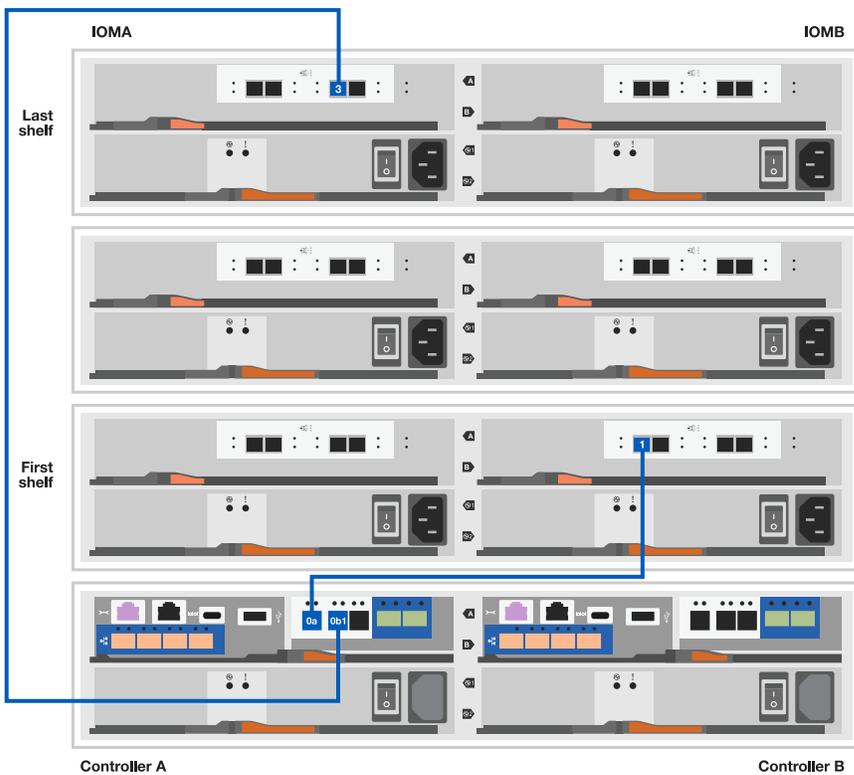
b. IOM Bのポート1と直下のシェルフにあるIOM Bのポート3



2. コントローラAをドライブシェルフにケーブル接続します。

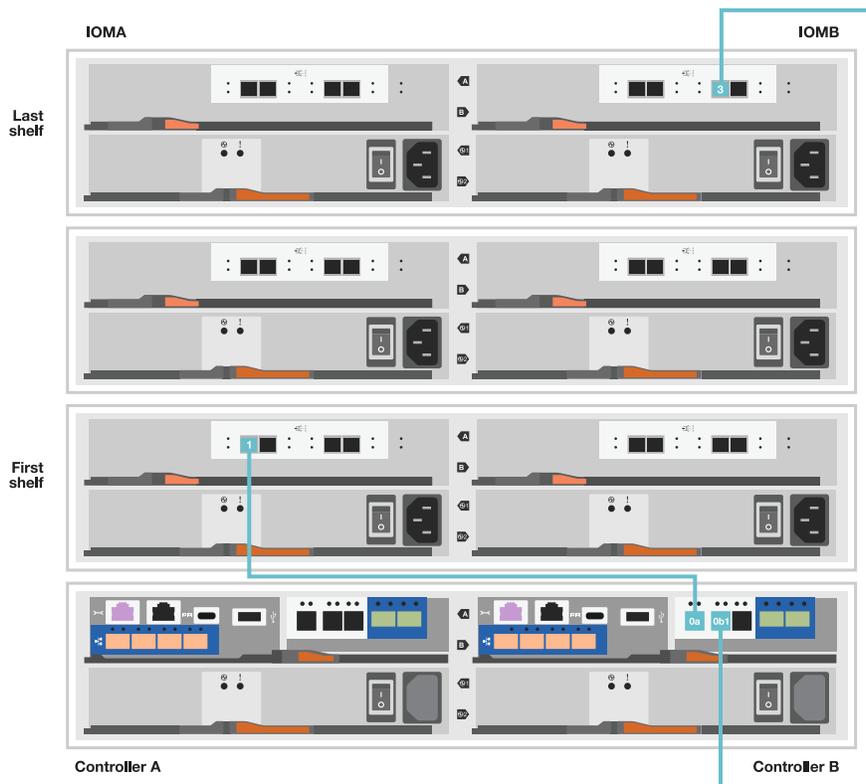
a. コントローラAのポート0aとスタックの最初のドライブシェルフにあるIOM Bのポート1

b. コントローラAのポート0b1とスタックの最後のドライブシェルフにあるIOMAのポート3



3. コントローラBをドライブシェルフに接続します。

- a. コントローラBのポート0aとスタックの最初のドライブシェルフにあるIOM Aのポート1
- b. コントローラBのポート0b1とスタックの最後のドライブシェルフにあるIOM Bのポート3



手順5：ストレージシステムのセットアップと設定を完了する

オプション1：ネットワーク検出が有効な場合、またはオプション2：ネットワーク検出が有効でない場合のいずれかを使用して、ストレージシステムのセットアップと設定を完了します。

棚 ID の設定が必要などちらのオプションでも、次のアニメーションを使用します。

[アニメーション-ドライブシェルフIDを設定します](#)

オプション 1：ネットワーク検出が有効になっている場合

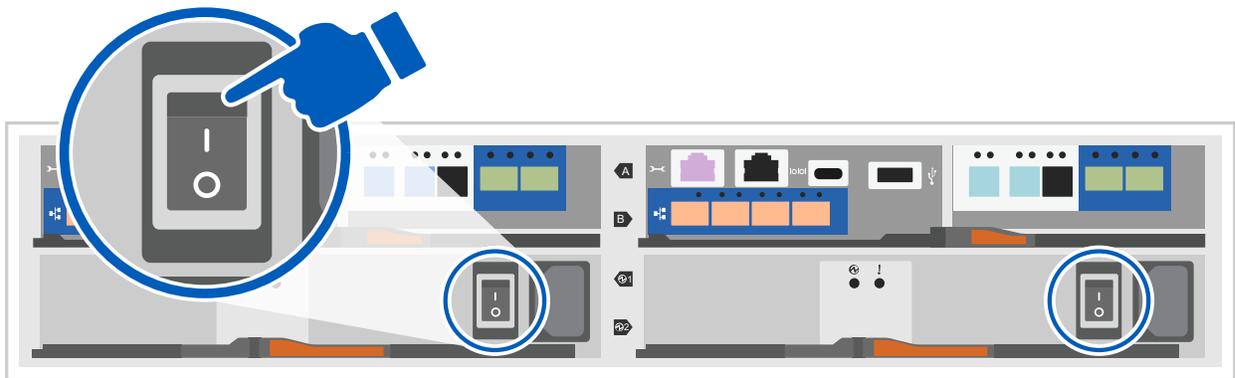
ラップトップでネットワーク検出が有効になっている場合は、クラスタの自動検出を使用してストレージシステムのセットアップと設定を完了します。

手順

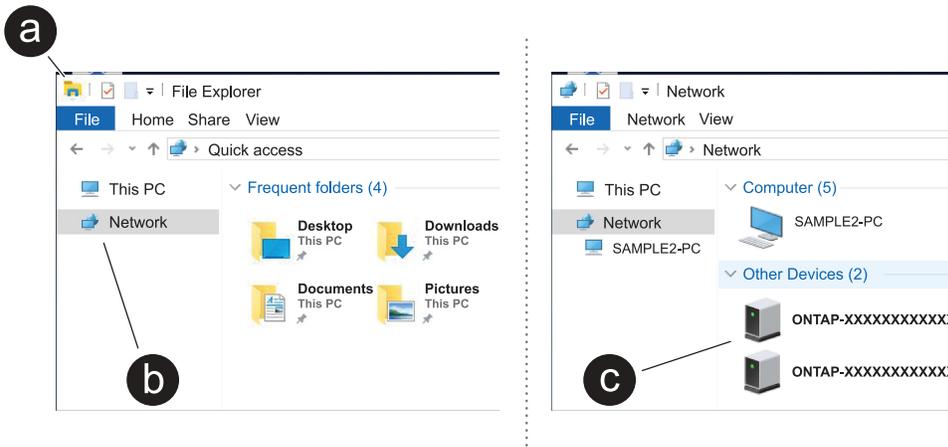
1. このステップの始めにあるアニメーションを使用して、棚の電源をオンにし、棚 ID を設定します。
2. コントローラの電源をオンにします
 - a. 電源コードをコントローラの電源装置に接続し、さらに別の回路の電源に接続します。
 - b. 両方のノードの電源スイッチをオンにします。



初回のブートには最大 8 分かかる場合があります。



3. ラップトップでネットワーク検出が有効になっていることを確認します。
詳細については、ラップトップのオンラインヘルプを参照してください。
4. ラップトップを管理スイッチに接続します。
5. 次の図または手順に従って、設定するストレージシステムノードを検出します。



- a. エクスプローラを開きます。
- b. 左側のペインで*をクリックし、右クリックして[更新]*を選択します。

c. いずれかの ONTAP アイコンをダブルクリックし、画面に表示された証明書を受け入れます。



XXXXXは、ターゲットノードのストレージシステムのシリアル番号です。

System Manager が開きます。

6. System Managerのセットアップガイドを使用して、で収集したデータを使用してストレージシステムを設定します。 [手順 1：設置の準備](#)。
7. アカウントを作成するか、アカウントにログインします。
 - a. をクリックします ["mysupport.netapp.com"](https://mysupport.netapp.com)
 - b. アカウントを作成するか、アカウントにログインする必要がある場合は、_Create Account_ をクリックします。
8. ダウンロードしてインストールします ["Active IQ Config Advisor"](#)
 - a. Active IQ Config Advisorを実行して、ストレージシステムの健全性を確認します。
9. でシステムを登録します。 <https://mysupport.netapp.com/site/systems/register>。
10. 初期設定が完了したら、に進みます ["NetApp ONTAPのリソース"](#) ONTAP での追加機能の設定については、[ページを参照してください](#)。

オプション 2：ネットワーク検出が有効になっていない場合

ラップトップでネットワーク検出が有効になっていない場合は、設定とセットアップを手動で完了します。

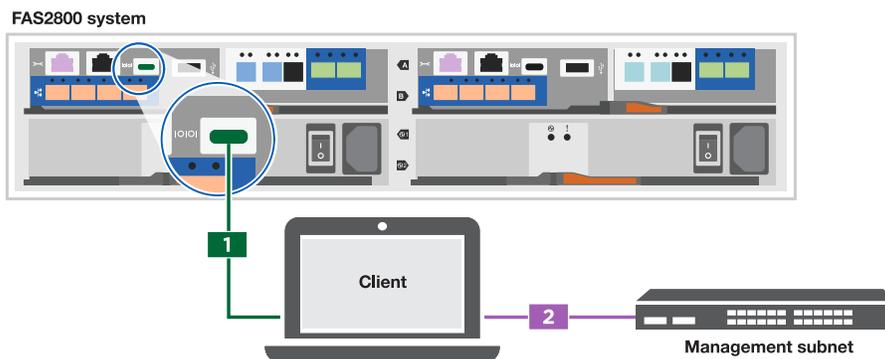
手順

1. ラップトップまたはコンソールをケーブル接続して設定します。
 - a. ラップトップまたはコンソールのコンソールポートを、115、200 ボー、N-8-1 に設定します。



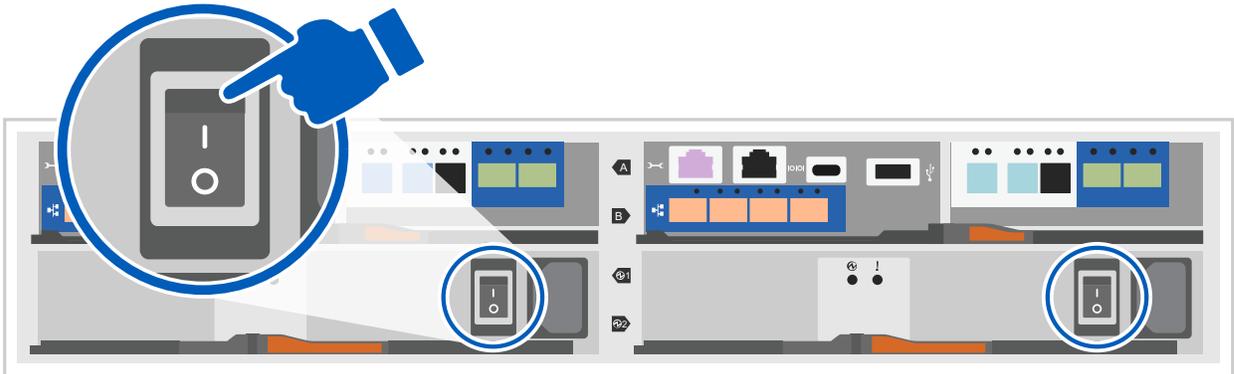
コンソールポートの設定方法については、ラップトップまたはコンソールのオンラインヘルプを参照してください。

- b. ストレージシステムに付属のコンソールケーブルを使用してコンソールケーブルをラップトップまたはコンソールに接続し、コントローラのコンソールポートを管理サブネット上のスイッチに接続します。



- c. 管理サブネット上の TCP / IP アドレスをラップトップまたはコンソールに割り当てます。

2. このステップの始めにあるアニメーションを使用して、棚の電源をオンにし、棚 ID を設定します。
3. 電源コードをコントローラの電源装置に接続し、さらに別の回路の電源に接続します。
4. 両方のノードの電源スイッチをオンにします。



初回のブートには最大 8 分かかる場合があります。

5. いずれかのノードに初期ノード管理 IP アドレスを割り当てます。

管理ネットワークでの DHCP の状況	作業
を設定します	新しいコントローラに割り当てられた IP アドレスを記録します。
未設定	<ol style="list-style-type: none"> a. PuTTY、ターミナルサーバ、または環境に対応した同等の機能を使用して、コンソールセッションを開きます。 <div style="text-align: center;"> <p>PuTTY の設定方法がわからない場合は、ラップトップまたはコンソールのオンラインヘルプを確認してください。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> b. スクリプトからプロンプトが表示されたら、管理 IP アドレスを入力します。

6. ラップトップまたはコンソールで、System Manager を使用してクラスタを設定します。
 - a. ブラウザでノード管理 IP アドレスを指定します。



アドレスの形式は、`https://x.x.x.x` です

- b. で収集したデータを使用してストレージシステムを設定する [手順 1：設置の準備](#)。

7. アカウントを作成するか、アカウントにログインします。

- a. をクリックします ["mysupport.netapp.com"](https://mysupport.netapp.com)

- b. アカウントを作成するか、アカウントにログインする必要がある場合は、`_Create Account_` をクリックします。

8. ダウンロードしてインストールします ["Active IQ Config Advisor"](#)

- a. Active IQ Config Advisorを実行して、ストレージシステムの健全性を確認します。
9. でシステムを登録します。 <https://mysupport.netapp.com/site/systems/register>。
10. 初期設定が完了したら、に進みます "NetApp ONTAPのリソース" ONTAP での追加機能の設定については、ページを参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。